

翻訳にあたってのヒント

その 41

年長の役員？

このような訳文に出くわしたら、“senior officer”の誤訳とってほしい間違いない。英語の“senior”には、名詞では「年配者、高齢者、老人、年長者、年上の人、先輩、先達」の意味があり、形容詞となると「年長の～、年上の～」といった意味の他に、「前任～、上席～、上級～」という意味もある。こうした意味の違いをよく汲まずして、一番一般的な「年長の～」をあてはめてしまった誤訳である。組織には、職階とか階級があり、部長になって一月目、あるいは十年目であっても同じ部長であることには変わりはないが、前任順位（seniority）というのがあり、経験も力量も違うため「階級が同じでも前任者」であることから、“senior ...”をつけて区別するのである。

ちなみに、elder ...（年長の～）、old ...（年とった～）などの類の単語につく「al, el, ol, ul」には「高」の意味がある。elder とか old って言われる人は、仲間うちでも年齢とか立端が高い。Aliment（栄養物）は背を高くするのに必要だし、alimony（養育費や扶養手当）は一人前の背丈になるまで面倒みるために必要なお金である。Altar（祭壇）に話題を移せば、それはきまって一段高いところにある。また、exalt ...（～を高める・昇進させる・賛美する・ほめそやす・称賛する）、adult（成人した～、成人）altitude（高度）、男性歌手の alto（アルト）[男性四重声楽の場合、高音の順から alto → tenor → baritone → bass]、ultra ...（超～）もその類である。ただし、alchemy（錬金術）、alcohol（アルコール）、alkali（アルカリ）などは、アラビア語が英語になった単語であり、al- はその冠詞なのでアルそうだ。

以上で 41 回目終わり。